



# 水害の歴史

明治43年8月の台風では、東部低地帯が大規模に浸水 浅草 東本願寺



すみだ郷土資料館

水浸/前寺願本東草浅 月八年三十四治明

# 水害の歴史

明治43年の大洪水を契機に、荒川放水路の開削を開始

## 近代の放水路事業



荒川放水路(荒川)  
昭和5年完成

中川放水路(新中川)  
昭和38年完成

江戸川放水路(江戸川)  
昭和5年完成



# 隅田川のスーパー堤防

コンクリート防潮堤  
(昭和38~50年度)

スーパー堤防(昭和60年度~)

- 伊勢湾台風級の高潮に対処  
干潮面より、5.1m高い防潮堤

- 2つの目的  
地震対策と親水性の向上
- 川沿いの民間開発などと一体に整備



既設防潮堤

テラス

スーパー堤防

代表的な河川である隅田川では、全延長の約29%がスーパー堤防化されている

# 隅田川のスーパー堤防

スーパー堤防

スーパー堤防 隅田川(新川・箱崎地区)



整備前



整備後

東京を代表する河川・隅田川にふさわしい優れた景観を形成

# 隅田川のスーパー堤防

スーパー堤防

スーパー堤防 隅田川（大川端地区）



IHIの工場跡地の開発に合わせ  
スーパー堤防化



# 隅田川のスーパー堤防

スーパー堤防



# 隅田川のテラス



蔵前橋下流(なまこ壁風)



蔵橋下流(緑化と水路)



弁慶カニが繁殖



明石(レンガ風)



両国(隅田川テラスギャラリー)

# 江東内部河川の水位低下

特に地盤の低い地域では、常時、水位を低下

● 水門・樋門  
● 排水機場

特に地盤の低い地域

▲昭和49年頃

水位をAP-1.0m まで低下

■河道整備(旧中川)

船の航行のため 閉門を設置

整備状況	延長(km)	整備率(%)
全体計画	50.3	
H17末まで	22.5	45
H18予定	1.0	47
H19以降	26.8	

※延長は両側河川と東側河川の合計、整備率は累計

## 江東内部河川の水位低下




### 旧中川(水位低下区間)

**安全確保とともに、まちと一体的な景観を実現**





旧中川

亀戸中央公園前(桜開花時期)

## 江東内部河川の水位低下




### 小名木川(水位低下区間)「塩の道」再生



歌川広重「名所江戸百景」  
(1856~1858)より

「塩の道」と呼ばれた  
小名木川の歴史を踏まえ

- ・石積み風護岸
- ・木調の転落防止柵
- ・柳の植栽
- ・江戸風の看板や常夜灯  
など



「塩の道」再生区間




江東内部河川の水位低下



江東内部河川の水位低下



隅田川での新たなにぎわい



オープンカフェ（隅田公園）



太陽のマルシェ（勝どき橋テラス）



ヘブナーティスト（吾妻橋テラス）



東京ホテル（浅草付近）

神田川・日本橋川での新たなにぎわい



マーチ・エキュート 神田万世橋(JR)



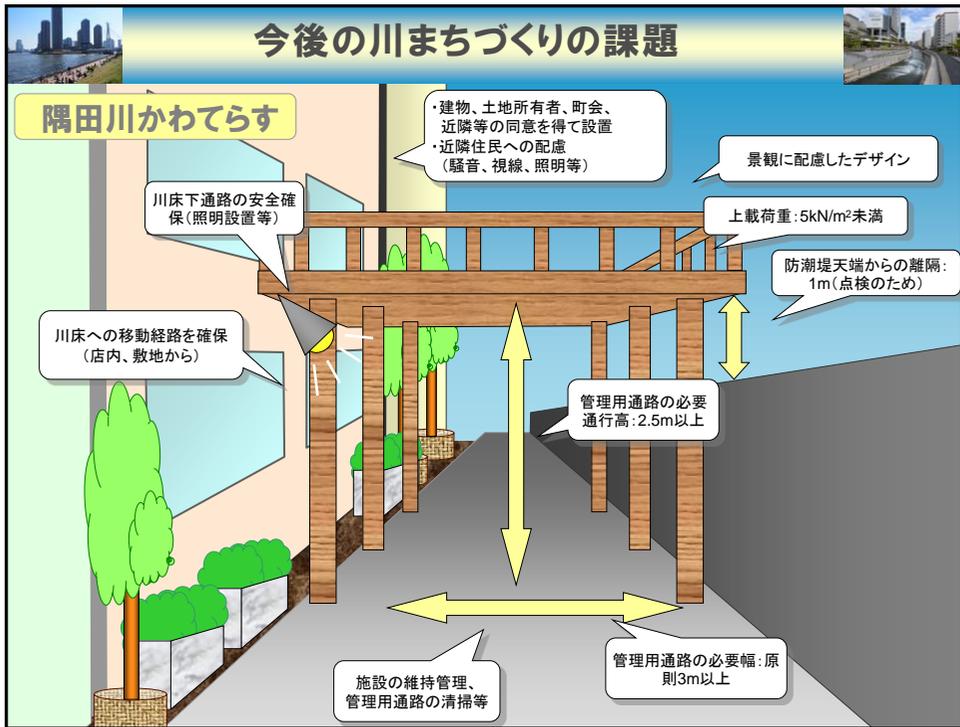
日本橋船着場(中央区)



神田川を眺めながら食事も可能



日本橋川・神田川めぐり  
(東京水辺ライン)



# 今後の川まちづくりの課題

## 渋谷川における取り組み



平成 23 年 4 月 「河川敷地占用許可準則」の改正

⇒ **地域活性化のための河川敷地の占用に関する規制緩和**

- ・ 占用可能な施設：『広場、イベント施設等』が追加



沿川住民、東京都、渋谷区、渋谷駅南街区事業者により構成される「渋谷川環境整備協議会」を発足

# 今後の川まちづくりの課題

## 渋谷川における取り組み



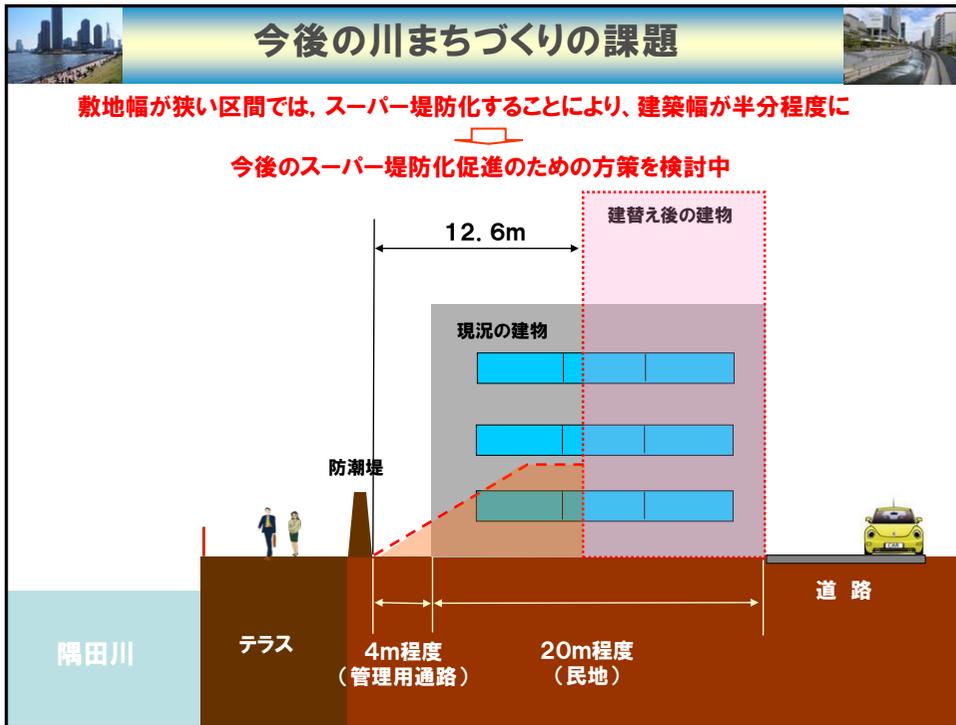
渋谷駅南街区プロジェクト(渋谷三丁目21地区)



東京急行電鉄株式会社HP

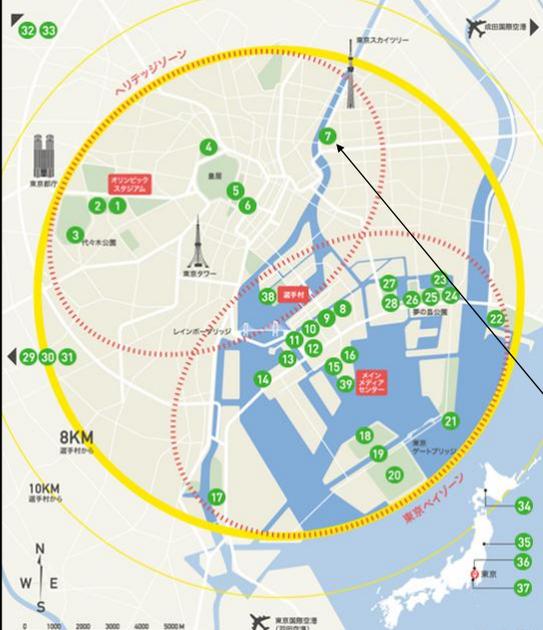
2017年開業予定





## 今後の川まちづくりの課題



**2020年 東京オリンピック**  
国技館がボクシング会場

臨海部に選手村やメディアセンター、  
多数の競技会場が配置

東京を代表する河川・隅田川に  
ふさわしい景観

舟運の活用、にぎわいの創出



**7 国技館**

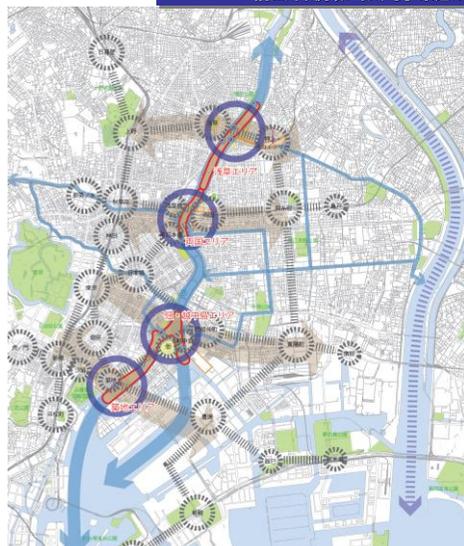
大相撲の聖地をボクシング会場に  
日本の国技である相撲の聖地は、ボクシングにとって理想的なすべり球の会場であり、観客は四方から競技を観戦することが出来る。国技館は、プロボクシングのハイパフォーマンスを期待した会場もある。

## 今後の川まちづくりの課題




**水辺に人々の活動を誘導する機能の充実が必要**  
(水辺の価値の向上／水辺と街の接続性・回遊性向上／にぎわい創出の持続可能な仕組み)

隅田川下流域における『水辺の拠点』



『浅草エリア』  
上野⇄浅草⇄東京スカイツリー  
浅草・東京スカイツリーを結ぶにぎわいの水辺

『両国エリア』  
秋葉原⇄両国⇄錦糸町  
歴史・文化が息づく「水の都」東京の顔

『佃・越中島エリア』  
東京・日本橋⇄越中島⇄東陽町  
開放的な河川景観が広がる洗練された水辺都市

『築地エリア』  
銀座・新橋⇄築地⇄豊洲  
海・川・街を接続する隅田川の玄関口

 街の核   
  防災船着場   
  地域資源  
 街の軸   
  川の軸   
  水辺の拠点

ご清聴ありがとうございました



## 議論のたたき台

---

平成26年1月16日

## 【視点1】我が国の水辺の魅力と価値

第1回懇談会での主なコメント:

- ・隅田川、神田川は意外と時が止まっている状態。ソフト面はよくなってきたが、事業部門はあまり参加していない。
- ・大阪の水辺には色気がある。
- ・東京都心の水辺は世界で最も面白い場所。ポテンシャルが高い。
- ・大阪では使いながら水辺を変えつつある。
- ・川は左岸右岸や橋の東西で違う文化を作っているのが面白い。
- ・ファミリーが来るような仕組みづくりが重要。
- ・水運に光を当てて考える必要
- ・川から生活が見えるようになると面白い。
- ・日々目にしているものと記憶とをどのようにつなげてアプローチしていくか。
- ・諸外国だと船が通勤手段など日常生活に溶け込んでいる。
- ・河川は安全第一。貴重なオープンスペース。日常空間と非日常空間の二つの側面。

### 【ポイント】

- ・水辺の魅力、価値
- ・世界に誇れる日本の水辺
- ・水辺の歴史的、文化的な価値
- ・家族・日常生活と水辺
- ・水運としての水辺
- ・日常性と非日常性



場の価値をどう考えるか  
歴史的・文化的価値をどう考えるか  
精神的価値をどう考えるか  
商業的価値をどう考えるか  
「気づきの視点」をどう広めるか

## [視点2] 水辺の魅力・価値を街づくり・地域づくりの中に活かす方法・アイデア

### 第1回懇談会での主なコメント:

- ・隅田川、神田川は意外と時が止まっている状態。ソフト面はよくなってきたが、事業部門 はあまり参加していない。(再掲)
- ・川とまちを結びつけるというコンセプトは重要。
- ・都市の水辺に新しい水上経験をつくる。
- ・個人の楽しみと行政の管理にコンフリクトがある。
- ・シビックプライド＝まちのデザインなどに関わることによりまちに対する誇りが醸成される。
- ・都市のウェルカム感の表現も大事。
- ・公共空間のような「みんなのもの」は、「自分のもの」でないと捉えられ、結局「誰のものでもなく」になりがち。
- ・大阪では使いながら水辺を変えつつある。(再掲)
- ・行政内では、一方でやれそうな流れになっても、もう一方で反対されて実現しない。
- ・中央と現場との感覚にずれがある。
- ・まちを使いこなして楽しみ方を共有すること。
- ・川は左岸右岸や橋の東西で違う文化を作っているのが面白い。(再掲)
- ・水運に光を当てて考える必要。(再掲)
- ・川から生活が見えるようになって面白い。(再掲)
- ・「新しいこと、とんでもないことをやりたい」という思い。
- ・役所的にはどこが何を負担するかなどで問題になることもある。

### 【ポイント】

- ・行政部門の課題(部門間、中央と現場)、個人の楽しみと行政の関係
- ・シビックプライド
- ・都市のウェルカム感
- ・まちと水辺を使いこなす
- ・川とまちを結びつける
- ・新しい水上経験
- ・川から見える生活
- ・水運



まちの構成要素としての水辺をどう考えるか  
観光資源としての水辺をどう考えるか  
商業利用の方策とは何か  
新しい水上経験を引き出す利活用とは  
日常生活と水辺のあり方とは

### 【視点3】 民間企業の関わり方

第1回懇談会での主なコメント:

- ・問題は民間企業が参加してこなかったこと。
- ・都市の水辺に新しい水上経験をつくる。(再掲)
- ・都市のウェルカム感の表現も大事。(再掲)
- ・公共空間のような「みんなのもの」は、「自分のもの」でないと捉えられ、結局「誰のものでもなく」なりがち。(再掲)
- ・投資の対象となるにはキャッシュフローが確保されているかどうかポイント。  
水辺の再構築には、キャッシュフローを向上させるためのリノベーションがポイント。
- ・打つ政策次第では無から有が生まれる。
- ・お金を使わないで、どうやってファンドレイジングしながら面白いことをやるか。
- ・水運に光を当てて考える必要。(再掲)
- ・川沿いにマーケットが出来ないか。
- ・都市では、民間参入と持続可能な仕組みづくりが必要。

#### 【ポイント】

- ・キャッシュフローを向上させるリノベーション
- ・ファンドレイジング
- ・民間参入と持続可能な仕組みづくり



水辺のリノベーションとは  
民間参入の障壁とは  
持続可能な仕組みとは

#### [視点4] 各主体(民、産、学、官)の参画の仕組み

第1回懇談会での主なコメント:

- ・個人の楽しみと行政の管理にコンフリクトがある。(再掲)
- ・東京都心の水辺は世界で最も面白い場所。ポテンシャルが高い。(再掲)
- ・シビックプライド=まちのデザインなどに関わることによりまちに対する誇りが醸成される。(再掲)
- ・都市のウェルカム感の表現も大事。(再掲)
- ・公共空間のような「みんなのもの」は、「自分のもの」でないと捉えられ、結局「誰のものでもなく」なりがち。(再掲)
- ・大阪では使いながら水辺を変えつつある。(再掲)
- ・行政内では、一方でやれそうな流れになっても、もう一方で反対されて実現しない。(再掲)
- ・中央と現場との感覚にずれがある。(再掲)
- ・まちを使いこなして楽しみ方を共有すること。その舞台となる環境の形成、そしてそれを支える仕組みづくりが必要。(再掲)
- ・ファミリーが来るような仕組みづくりが重要。(再掲)
- ・日々目になっているものと記憶とをどのようにつなげてアプローチしていくか。(再掲)
- ・人に伝えるときにモデル事業がすごく重要。
- ・「新しいこと、とんでもないことをやりたい」という思い。(再掲)
- ・都市では、民間参入と持続可能な仕組みづくりが必要。(再掲)
- ・役所的にはどこが何を負担するかなどで問題になることもある。(再掲)

#### 【ポイント】

- ・世界への発信
- ・シビックプライド
- ・都市のウェルカム感
- ・行政の関わり方
- ・民間参入と持続可能な仕組み
- ・まちと水辺の使いこなし方と環境形成、支える仕組み



国内及び世界へのプロモートの考え方  
「気づきの視点」をどう広めるか  
「つくる」だけでなく「育てる」ことも視野に入れる意識改革  
シビックプライドを取り入れた仕組みとは  
水辺とまちを使いこなす持続可能な仕組みとは  
民間参入が可能な仕組みとは  
その時、行政はどう関わるのか

## スケジュール(案)

**第1回懇談会 = 12月27日(金)13:00~15:00**

- ①趣旨説明
- ②自己紹介

**第2回懇談会 = 1月16日(木)10:00~12:00**

- ①事例紹介
- ②議論のポイント(たたき台)に関する意見交換

**第3回懇談会 = 2月7日(金)13:00~15:00**

- ①事例紹介
- ②メッセージ集(骨子案)に関する意見交換

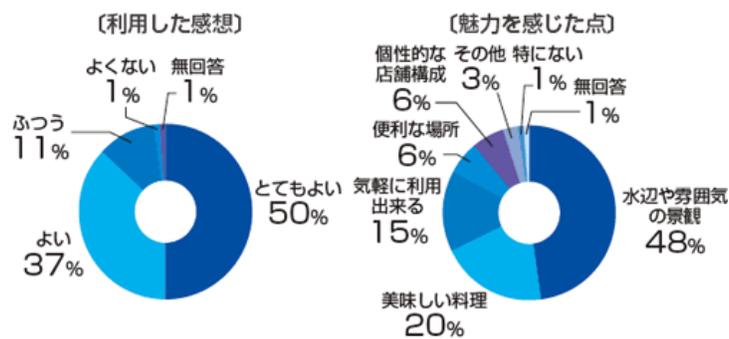
**第4回懇談会 = 2月27日(木)13:00~15:00**

- ①コメンテーターからメッセージ
- ②メッセージ集(案)に関する意見交換

## 参考データ

平成26年1月16日

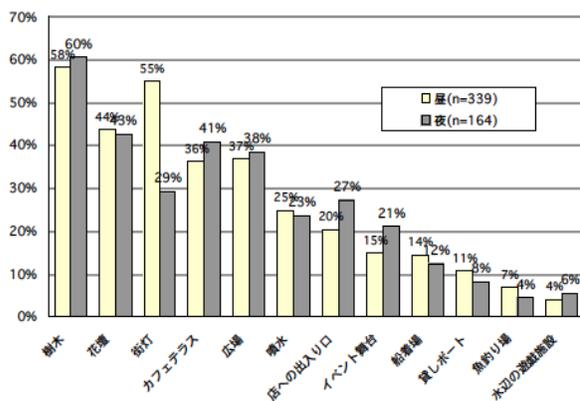
### 広島市:京橋川オープンカフェにおける利用者アンケートの結果



京橋川オープンカフェ（独立店舗型）における利用者アンケートの結果  
（平成18年（2006年）10月）

オープンカフェの実施により、水辺空間の新たな使い方についての市民ニーズ、関心の高さが明らかになった。  
オープンカフェの魅力として、「水辺の雰囲気や景観」が高く評価、認識されている。

## 大阪市:道頓堀川におけるアンケート



遊歩道に必要なと思うもの

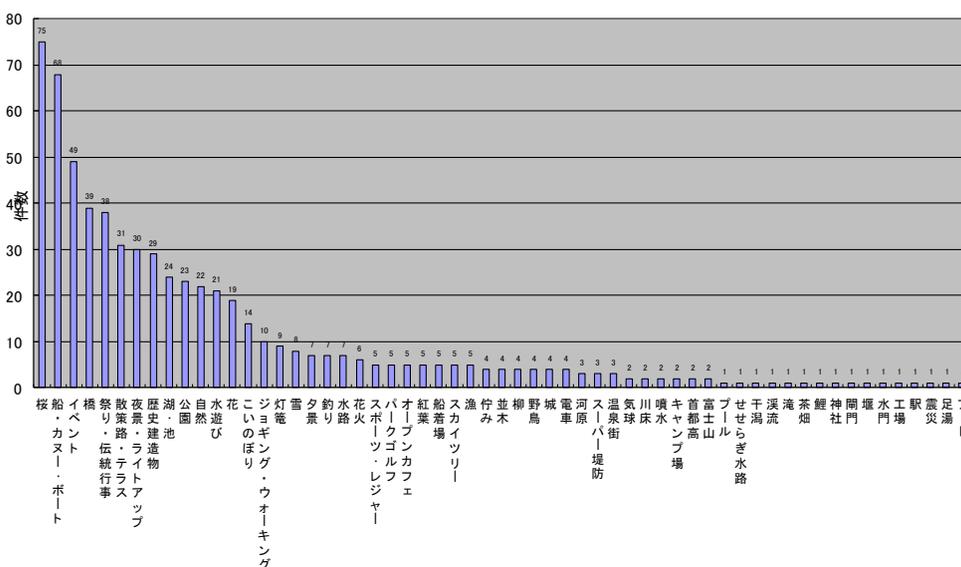
### 因子分析の結果(昼)

因子軸名	歩く楽しみ	川の水	休息性
歩きやすい	0.737	0.044	0.056
橋と遊歩道の間の移動がしやすい	0.598	-0.017	0.131
以前より道頓堀川を好きになった	0.482	-0.212	0.037
遊歩道にゴミが少ない	0.462	-0.064	-0.012
川の水がきれいだった	-0.048	-0.690	0.186
水にさわりたい	0.047	-0.634	0.065
橋の上からよりも水がきれいに見える	0.089	-0.473	0.153
川沿いに緑が多い	-0.047	-0.274	0.681
橋や街の景色がよい	0.121	-0.122	0.582
休む場所が多い	0.105	-0.015	0.521
自然を感じられる	0.039	-0.345	0.400
遊歩道を歩いているのが気持ちにならない	0.394	-0.019	0.018
歩いていて快適だ	0.376	-0.015	0.191
遊歩道の敷物が楽しめる	0.323	-0.088	0.078
遊歩道での敷物が楽しめる	0.121	0.130	0.362
川にゴミが少ない	0.141	-0.258	0.064
橋の上に出歩いて匂いが臭にならない	0.141	-0.147	0.028
橋の上からよりも川のゴミが少なく感じる	0.152	-0.237	0.067
水とのふれあいがある	0.306	-0.295	0.066
川の景色がよい	0.213	-0.268	0.274
橋の上からよりも景色がよい	0.130	-0.230	0.228
総合的に遊歩道には満足だ	0.198	-0.081	0.233

- ・樹木や花壇の「緑」とともに、カフェテラスや広場の「賑わい」も求められている。
- ・昼間では、「歩く楽しみ」、「川の水」(マイナス)、「休息性」が評価要因となっている。

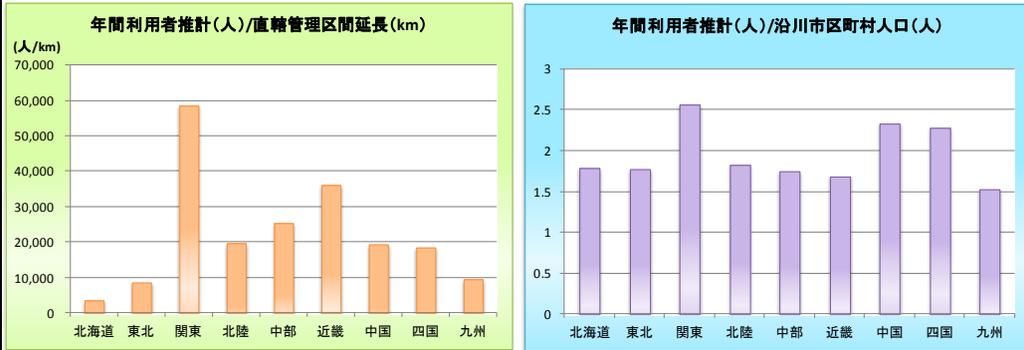
梶原ら: 因子分析による道頓堀川遊歩道整備に対する評価の分析, 土木学会第60回年次学術講演会(H17)

## 「全国水辺自慢写真集」におけるキーワード整理



「美しい水辺とまち」をテーマに風景写真を募集した「全国水辺自慢写真集」383点の写真からキーワードを1〜複数個判別し整理した。

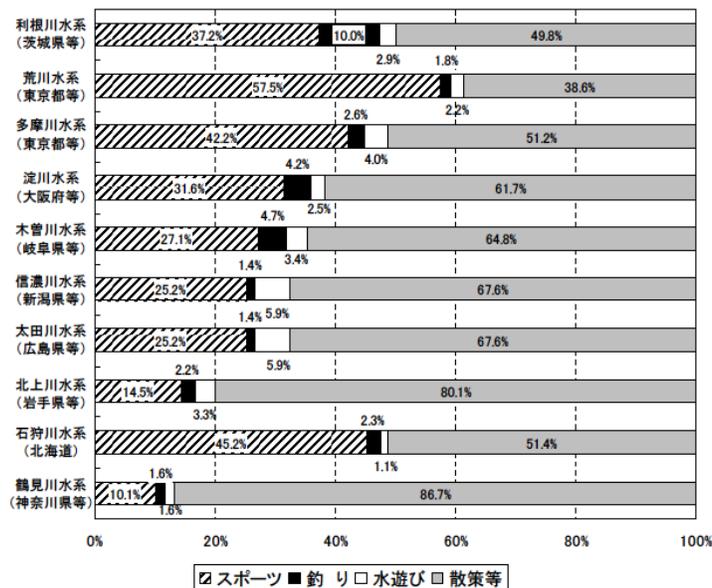
## 一級水系の直轄管理区間における年間河川利用者数(推計)



- ・首都圏を抱える関東での利用者数が多い。
- ・1kmあたりの利用者数は関東について近畿、中部の利用者数が多い。
- ・沿川市区町村の人口と比べると、関東以外では中国、四国での利用者数が多い傾向がある。

H21年度河川水辺の国勢調査(空間利用実態調査)より

## 利用者数トップ10(H21年度)の河川における利用形態



河川水辺の国勢調査(空間利用実態調査)より

## 護岸整備等が賑わいづくりに貢献している例

### ■大阪市:道頓堀川



整備前



整備後

## 護岸整備等が賑わいづくりに貢献している例

### ■広島市:京橋川



整備前



整備後

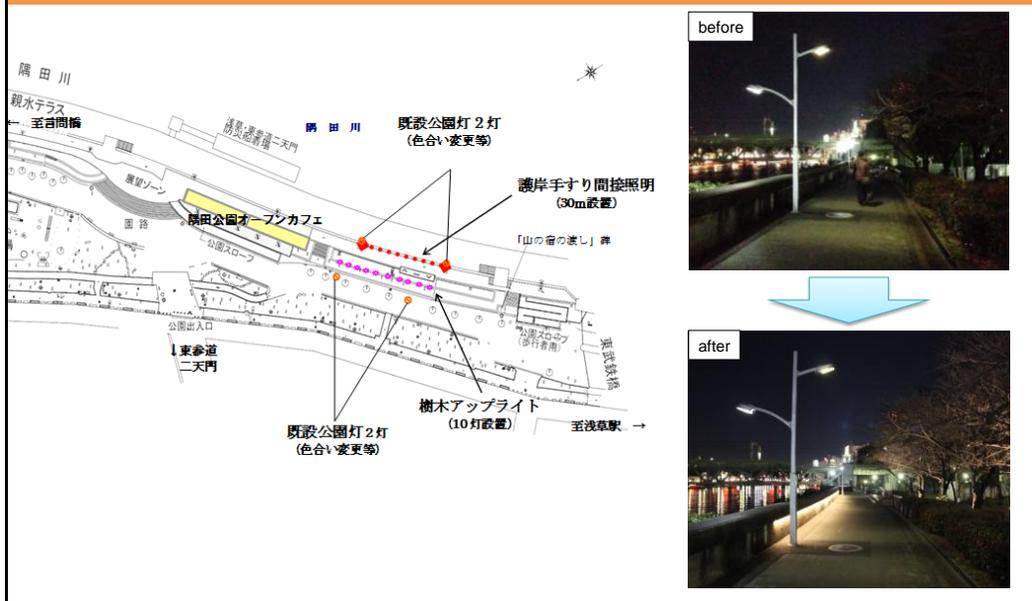
## まちなかの修景等が賑わいづくりに貢献している例

### ■香取市:小野川



電線の地中化や街並みの修景

## 隅田川沿いで「あかり」を活用した夜間景観のイメージアップ (社会実験)



## 隅田川沿いで日本最大級規模の新しい都市型マルシェを開催 (社会実験)



太陽のマルシェ(隅田川テラス会場)

## 沿川建物の川側への出入口設置件数の増加 (大阪市道頓堀川)



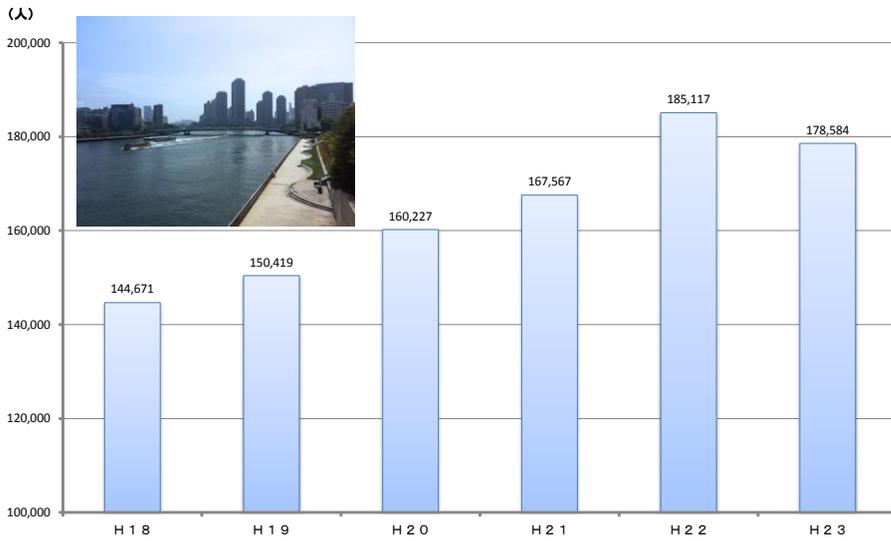
川側の出入口



※川側への出入口設置件数(大阪市調査)



## 隅田川水上バス(東京水辺ライン)の利用者数



公益財団法人東京都公園協会公表データより作成

**TOKYO CRUISE** 海抜0mからの東京発見

運航状況のご案内

水上バスについて

ヒミコ・ホテルナ 予約

団体予約 (15名以上) GROUPS 15+

運航ルート一覧

浅草 Asakusa  
上野 Ueno  
隅田川 Sumida River  
浜離宮 Hamarikyu  
日の出桟橋 Hinode Pier  
豊洲 Toyosu  
パレットタウン Palette Town  
お台場海浜公園 Odaiba Seaside Park  
東京港 Tokyo Bay

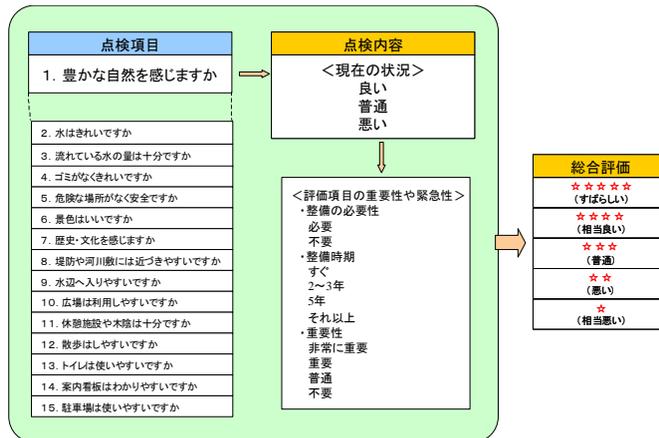
東京都観光汽船株式会社HP

運航ルート一覧

# 川の通信簿とは

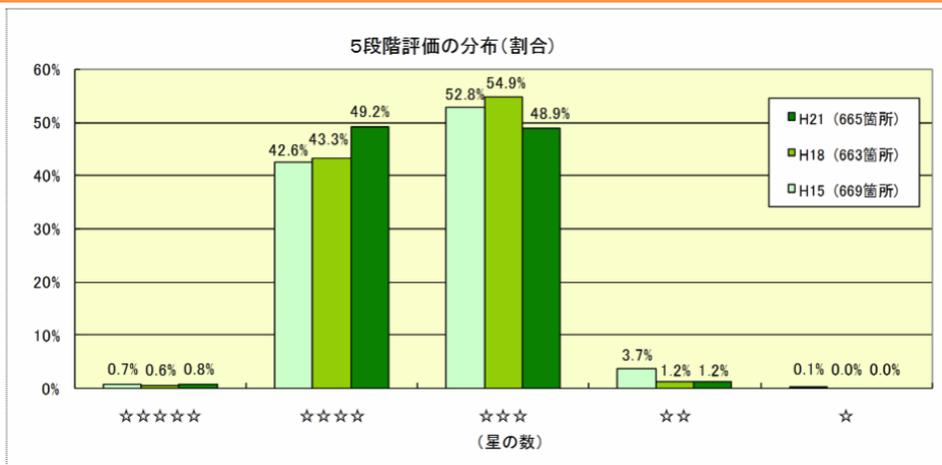
川の通信簿①

・良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図ることを目的とし、全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と共同でアンケート調査を実施



# 一級水系直轄管理区間における評価結果

川の通信簿②

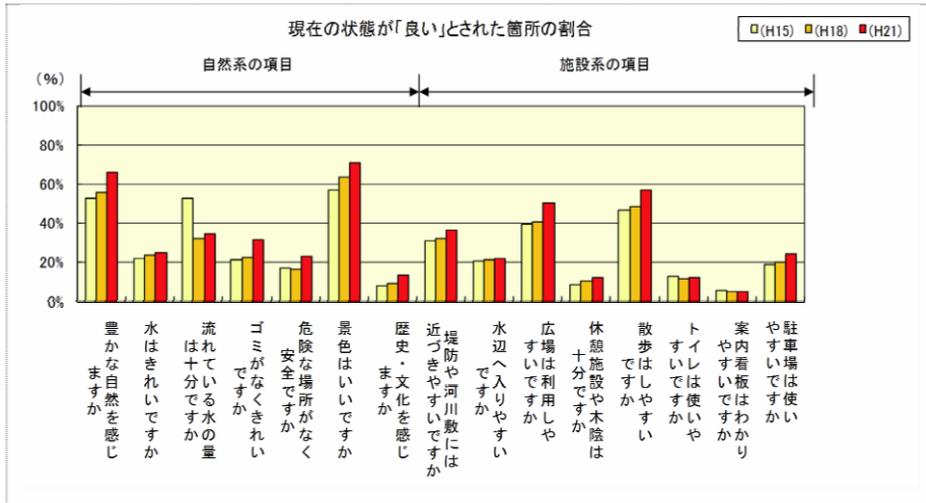


・全国の108水系236河川、665箇所で「川の通信簿」による調査を実施。  
 ・のべ14,339人の参加者がいました。  
 ・各事務所が公募等により参加者を募集し、実際の河川の現場でアンケート。

川の通信簿調査結果より

## 「良い」という評価結果の要因

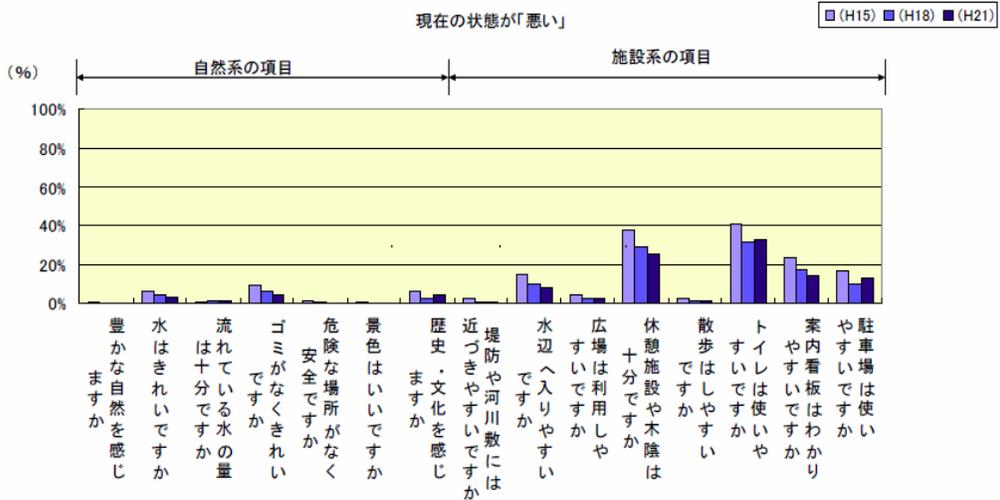
川の通信簿③



川の通信簿調査結果より

## 「悪い」という評価結果の要因

川の通信簿④



川の通信簿調査結果より

## 民間企業による商業利用の例(水辺のカフェ)



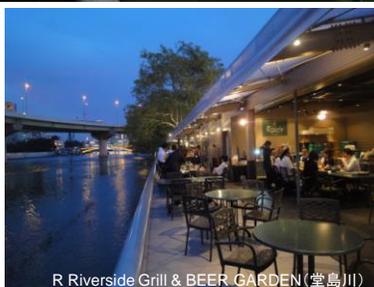
cafe REGALO等(京橋川)



リバーサイドカフェ シェロイリオ(隅田川)



ニホンパシテノイチノイチ(日本橋川)

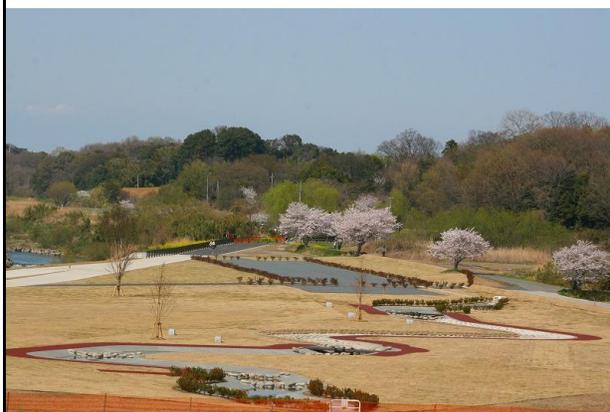


R Riverside Grill & BEER GARDEN(堂島川)

## 民間資金による河川管理の例

### ■北本市ネーミングライツ事業(埼玉県、荒川)(北本高尾地区かわまちづくり)

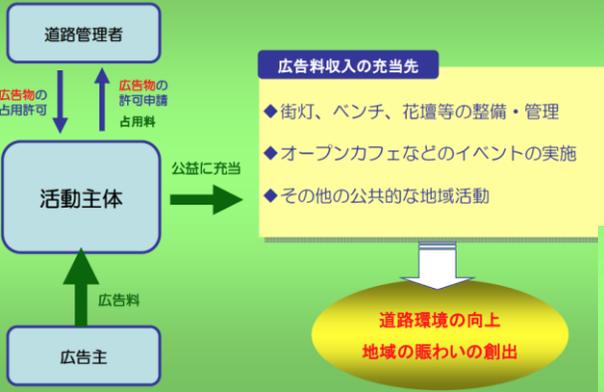
- (1) パートナー企業  
三国コカ・コーラボトリング株式会社
- (2) 愛称  
三国コカ・コーラボトリング北本みずべひろば
- (3) 命名権料  
1,050,000円(消費税含)/年間(北本市を經由して公園の維持管理に充当)





# 河川以外の民間活力を活かした取り組み【道路】

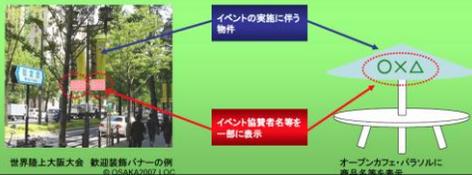
地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする広告物の取扱い



▶ 広告物は設置中も高さが1.8m以下で認められることとし、原則として1物件につき1個、街灯に あつては1対まで。  
 ▶ 追加設置等の大きさは、原則として車道内から見た場合に於ける占有物の幅及び高さを超えないものとする。ただし、街灯に添加する場合は、突出し幅及び高さ。  
 ▶ 道路標識の向上を主たる目的に設置される花壇等に添加する広告物については、大きさ等は必要最小限。

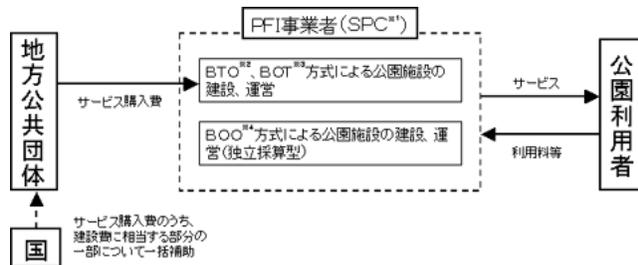
高さへの広告追加  
 (広告料収入の設置又は維持管理費に充当)

高さへの広告追加  
 (広告料収入の設置又は維持管理費に充当)



# 河川以外の民間活力を活かした取り組み【公園】

・都市公園におけるPFI事業



長井海の手公園整備等事業

- [1]事業期間:平成15年～12年間
- [2]公園面積:21.3ha
- [3]事業方式:レストラン・売店、加工体験棟、駐車場ほか (BOT方式、独立採算型)  
園路・園地、管理棟、展望台ほか(BTO方式、サービス購入型)

## 「全国の水辺自慢写真集」の募集・公表

～河川の美しさを再認識し、魅力ある水辺づくりへの意識の醸成～

〇川や水辺の様々な**魅力や価値を再認識**するとともに、他の地域の水辺の風景に接することにより、**今後の水辺づくりを考えるきっかけ**となることを期待し、地域のシンボルとなっている「美しい水辺とまち」をテーマに風景写真を募集。

現在、国土交通省 水管理・国土保全局の廊下を全面的にギャラリーとして活用し、全写真を展示中



## 東京リバーサイドライフドリンクス

これらの行政の動きに呼応して、**民間の主導**により、水辺に関心の高い方たちが、水辺の将来について語り合いながら交流、連携を深める「東京リバーサイドライフドリンクス」が開催。



第1回(平成25年9月26日)



第2回(平成25年12月4日)

 水辺におけるビジネスチャンスの発掘や、水辺文化の発信源となっていくことを期待。